



「アジア太平洋未来研究センター」を新設

概要

- ① 九州大学が培ってきた「アジア重視戦略」の成果に立脚した世界展開を進めて行くため、「アジア太平洋共生の共通基盤となる独自の新学問分野」を切り拓き、新たな政策的アジェンダを提起する人文社会科学横断型の研究センターを平成 26 年 3 月 1 日に新設します。
- ② 世界トップクラスのスタンフォード大学からスター級研究者（九州大学シニアアドバイザー）等を研究ユニットごと誘致し、グローバル型最先端研究施設を創設します。
- ③ 日米の二つの大学による研究センター共同運営体制の構築と共同プロジェクトの推進の実施は、人文・社会科学分野において日本で最初の試みです。

背景

2011 年に創立百周年を迎えた本学は、「九大百年、躍進百大」（どの分野においても世界トップ百大学に躍進する）を掲げ、これからの百年の発展を築いていくことを「百年メッセージ」において宣言しました。

この「躍進百大」の実現に向けた取り組みのひとつとして設置されることになったアジア太平洋未来研究センター（Center for Asia-Pacific Future Studies = CAFS）では、日本再生のために大学が求められている社会的要請に応えるとともに、本学が培ってきた「アジア重視戦略」の成果に立脚した世界展開を進めていくため、「アジア太平洋共生の共通基盤となる独自の新学問分野」を切り拓き、新たな社会的アジェンダを提起し、本学の人文・社会科学分野における世界的評価を高める原動力となることを目指します。

内容

【人文・社会科学系の世界的評価を高めるための方策】

- 1) 「アジアを重視した知の世界的拠点構築」を目指す九州大学にあって最重要研究対象地域であるアジア太平洋地域の研究を、総長のガバナンスの下で推進します。
- 2) アジア太平洋地域研究の今日的諸課題に携わる学内の関連部局をネットワーク化し、研究者や大学院生の活発な相互連携を強化し、人文・社会科学分野における研究を世界的水準へと向上させます。
- 3) 本学における人文社会科学分野の英語による研究成果発信力を圧倒的に増大することで、2023 年までに九州大学が「全ての学問分野」で世界大学ランキングのトップ 100 入りすることを目指します。
- 4) 国内外のトップ大学からの研究ユニットを誘致することで、真に世界で競うことができる研究教育体制を整備します。
- 5) 研究モジュール別に次世代研究者対象の Global Nexus Program（サマースクール、国際共同教育プログラム）を主管し、国際的に活躍する次世代研究者を確保するための好循環を創出します。
- 6) 世界トップクラスのスタンフォード大学アジア太平洋研究所と連携協力して CAFS と共同運営体制を確立。これにより、本学を中心拠点とする新たな世界的ネットワークを形成するとともに、世界考古学会議（会長：溝口孝司 本学大学院比較社会文化研究院 教授）など本学がもつ既存の国際ネットワークを拡充し、研究力を強化します。

効果

CAFS が設置され、人文・社会科学分野における国際化改革がより迅速に実行されることにより、次のような効果が期待されます。

- 1) 九州大学総長の強力なガバナンスにより大学としての使命を設定し、競争的環境を見据えることで、講座・学科・学部の壁や垣根を越えた、時代の要請に応える人文・社会科学分野における全学的研究システムが確立できる。

- 2) 世界の最先端で活躍するスーパースターを、各モジュール・ユニット別に本学に常駐させる。それにより、次世代スーパースターの育成が本学において行われることになり、九州大学のブランド力が向上する。
さらに、世界トップレベルの研究機関としての認知度を上げ、ひいては国際的大型競争的資金の獲得も期待される。
- 3) 第一線の研究者が世界から九州大学に集い、優れた研究環境、高い研究水準という「目に見える」世界的研究拠点が形成される。これにより、被引用論文の国際的シェア及び国際共著論文の飛躍的な拡大が見込まれる。
- 4) CAFS がコアとなり、海外ネットワークを拡充することで、国際共同研究・教育がより進展し、外国人研究者や留学生の増加、そして国際的に通用する人材の育成など、九州大学の国際化が一層推進される。
- 5) CAFS は大学改革の中核である「人事給与システム改革」を率先して導入し、総長のガバナンスによる大胆かつ先駆的な改革を進める。

以上のことから、CAFS は名実共に「アジアに強い九州大学」を実現させ、全ての学問分野において世界大学ランキング 100 に躍進する大きな牽引役となります。

また、世界トップクラスのスタンフォード大学アジア太平洋研究所との連携も実現し、両大学における共同運営体制の構築、共同プロジェクトの推進が可能となり、世界に伍して競う大学の研究・教育環境が構築できます。

■今後の展開

CAFS は、「躍進百大」の実現に向けて、教員組織の国際化改革を実行していくものであり、将来的には、学内の様々な機関と連携し、より発展していくことも視野にいれており、その意味においても、本学の人文・社会科学分野の国際化改革の試金石となるセンターといえます。

【お問い合わせ】

韓国研究センター長 松原孝俊

電話：092-642-4276

FAX：092-642-4276

Mail：matsubara.takatoshi.414@m.kyushu-u.ac.jp

アジア太平洋未来研究センター構成

国内外のトップ大学
研究ユニット招聘

スーパースター

九大発の
新学問分野の提案者

※教授会は設置せず
※モジュールは、
スクラップ&ビルド可

【モジュール】

ホーダースタディーズモジュール

境界形成および変容, 紛争回避メカニズム研究

文化共生研究モジュール

共生哲学, 歴史認識問題, 文化摩擦, 宗教摩擦研究

〇〇モジュール

〇〇モジュール

Track 2

【ユニット】

文明科学研究プレモジュール

地域科学分析と先史社会, アジア太平洋古代研究

人類遺産研究プレモジュール

世界文化遺産学, 紛争地域・第3・第4世界の文化財保存・活用

〇〇プレモジュール

〇〇プレモジュール

Track 1

九大・スタンフォード連携ユニット

カルチュラルダイバーシティ研究, 東アジア関係研究,
少子高齢化問題研究, Innovation研究

●文系の優れた研究成果の英語による発信支援

incubation
マネジメント
&コーディネート
研究企画運営委員会

Global Nexus Program

次世代
スーパースター
育成

大学院生・次世代
研究者対象
サマースクール
MOOCsとの連携に
よる研究成果
発信力の向上

世界一流大学
地方自治体
各国政府機関

連携

ハイブリッド型
国際教育組織

連携

基幹教育院
国際教養学部
学府・研究院
学共施設

連携

英語による
教育拡充
...
世界トップレベル
の
専門家による
講義
...
世界標準の
教育の質保証
の
仕組みの整備

シニアアドバイザー

国際担当理事・副学長

センター長

副センター長

研究企画運営委員会
人事選考委員会
モジュール運営連絡会
MOOCs連絡会

学内諸機関からの
プレモジュール
開設提案

CAFS支援室

センター運営事務

総
長

ガバナンス